

くれました。住民がほっと一息でした。その時私と直人君は山崩れ現場を歩いていました。立派な板は実は雪から窓を守る為の落とし板でした。先日直人君の結婚式で当時の山古志村長、長島忠美衆議院議員にお詫びしておきました。何とか直人君の自宅にたどり着きお母さんからおにぎり1ヶもらい歩いて下山いたしました。少し下ると錦鯉の道具を買った店の前にきました。すると本間さん山古志にいたんだ何か飲めてえー。親切にしてもらいました。消防服を着ている事情を説明し下山するんだと言ったらその恰好じゃダメ、途中土砂崩れがあって行けない、胴長であればなんとかなると、そこで胴長を貸してもらい、サオを持ち下山しました。あの皆川優太ちゃん救出現場の妙見まで来ました。通常、車ですと10分足らずですが3時間位かかりました。どうやって栃尾まで帰るかそればかり考えていました。妙見には山古志方面の住民が帰れず、車の列でした。その中で知り合いがいられましたので小千谷駅まで乗せてもらいました。

駅でタクシーを拾って帰ろうと思いましたが、全くいません。長野Naのハイヤー全て予約。相手にされませんでした。しばらく歩きました。足が痛くなり、疲れも出てきました。パトカーが来ましたのでつい手を上げました。すると停まりました。長岡まで行きたいのが乗せて貰えませんかと尋ねましたら私達は小千谷大橋の交通規制に向かうので長岡には行かない。それでは結構ですと言いましたら、乗りなさい長谷川さんと言われました。本間なのにと思いましたが消防服のネームが長谷川さんだったのです。それから私は長谷川で通すことにしました。交通規制の場所で長岡へ行く車を止めてやるからと言われ乗せてもらいました。

長岡方面へ業務命令が出たと言ったら信用してもらったようです。確かに制服ではあるが胴長の消防隊、しかも1人おかしいと思わなかったのか。ご苦労様ですとかなんとか言われました。長岡方面の車を停めてもらいました。越後滝谷まで行く長野の電気工事の車でした。越後滝谷で降ろされ次の車を探しました。久しぶりのヒッチハイクでした。手を上げたらワゴン車が止まってくれました。塩沢の大工さんで白根に現場があり塩沢に向かったんだが、和奈津トンネルが通行止めで行けないので又白根に戻るんだとのこと。これはラッキー三条まで乗せてくださいと頼み、須頃のコメリさんで降ろしてもらいました。

公衆電話で自宅へ連絡し興野の花屋まで迎えに来てもらうことにしました。石上大橋を歩きジャスコまできました。そこで電話しジャスコまで来てもらうことにしました。

それにしても人様の目が気になって胴長の消防服は山古志、小千谷までは格好悪くないにしても、さすが三条までくるとはずかしい姿でした。娘が迎えに来て栃尾の家に着いたのは午後4時でした。朝5時からの11時間の珍道中でした。

第7回理事会

開催月日：平成19年1月9日（火）11：30～12：30

開催場所：三条ロイヤルホテル

出席者：小林（満）、斎藤（正）、山中、淵岡、本間（重）、米山（キ）、山本

阿部、外山（裕）、早川 出席者10／14（委任状2）

願います。

佐藤文夫君 新年おめでとう、今年も宜しく!!

横田加代子君 還暦を家族で祝ってもらいました。喜 相田さん入会歓迎

西村護君 新年明けましておめでとうございます。今年も宜しく願い致します。

佐藤義英君 新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

外山晴一君 あけましておめでとうございます。

山上茂夫君 雪なし、酒なし、つゝがなしの正月を過ごしました。本年もよろしく。

坂内康男君 新年おめでとうございます。本年も宜しくおねがいします。

木宮隆君 新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく!!

堀川正幸君 新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

阿部勝子君 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。新入会員の皆様ご入会本当に嬉しいです。

石川友意君 新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。相田さん、金子さんの入会を歓迎いたします。小畠先生おかえりなさい。

大野新吉君 明けましておめでとうございます!!本年も宜しく願い申し上げます。小畠先生の再来をお祝いして新年早々うれしいことです!!

中條耕二君 相田さん、金子さんのご入会を心から歓迎します。今年は北クラブ会員増強、発展、飛躍の年となりますようお祈りしております。

山崎勲君 BOXに協力

丸山達夫君 //

*12月のコメント賞は淵岡 茂会員です。

新会員入会式：

新入会員プロフィール

氏 名 金子太一郎

生年月日 昭和34年4月7日

会社名 金武(株)

役職名 代表取締役

会社住所 三条市興野3-11-3

TEL35-1223 FAX35-2877

自宅住所 三条市東三条1-20-27-206

TEL32-7450

ご家族 節子（妻）・雄一（長男）・将之（次男）・千春（長女）

この度、全研ビルサービスの佐藤さんのご紹介で入会させて頂くことになりました金武(株)の金子太一郎です。大変厳格なクラブに入ったなと恐縮しております。皆様に迷惑を掛けないう、楽しく



参加させて頂きたいと思います。宜しくお願いします。今年48歳で年男です。会社は現在は環境用品を扱っています。

氏 名 相田 恒彦

生年月日 昭和17年 5 月30日

会 社 名 相田化工(株)

役 職 名 代表取締役

会社住所 三条市金子新田乙945-32

T E L 32-5095 F A X 34-2679

自宅住所 三条市西四日町16-38-3

T E L 33-4517

ご 家 族 恵(妻) 他5名

全研ビルの佐藤さんからかなり前から誘いを頂いていましたが、ずっとお断りして来ましたが今日の入会となりました。立派な方ばかりなので今でも出て行きたい気持ちです。皆さんにお世話に成ると思いますが宜しくお願いします。会社は、塗装ハンガーとNCフライス化工をやっております。

氏 名 小島 茂男

生年月日 昭和15年11月 1 日

会 社 名 おばた内科クリニック

役 職 名 院長

会社住所 三条下坂井 8-52

T E L 35-5600 F A X 35-5610

自宅住所 三条市諏訪新田529-2

T E L 35-5300

ご 家 族 弘子(妻)

皆さん明けましておめでとうございます。味方会長の時にロータリーの意味など全く知らずにお友達が増えればいいなと言う気持ちで入会しました。いつか木宮さんが退会者が多いときにもっとロータリークラブの価値を上げなければと言っていたことを覚えています。今回又、入会する事でクラブに価値があるかどうか解りませんが友達になっていただき、クラブに尽くしたいと思います。以前退会した理由は患者さんが多かったりすると時間が間に合わなかった事。又ロータリーの意味が解らない事、理事会主導で運営されている事への疑問、最も大きい理由は妻の病気で郷里である弘前に帰ろうと思ったことです。しかし考えてみると、私も60の半ばで新しい環境で友達を作ると言うことも大変なことです。もう一度このクラブで皆さんとお付き合いしながらロータリーの意味を考えていきたいと思います。宜しくお願いします。



卓 話： “中越地震その時私は山古志にいた” 地震発生から帰宅まで 本間 重満幹事



登場人物 直人君(星米養鯉場の息子、山古志役場勤務)

洋一さん(山古志村役場勤務錦鯉生産マニア)

2004年10月23日(土)朝から鯉ハントに山古志に向かいました。直人君と一緒に3~4軒の鯉屋さんを廻り、鯉の品定めをしていました。翌24日は恒例の若鯉田上がり品評会です。実は甥の結納が予定されており一般公開を見ることが出来ない為、前日有名な生産者に立ち寄り品評会参加鯉を見せてもらいました。それと同時に洋一さん作出の優秀品を分けてもらう事になっていたので非常に楽しい鯉ハントでした。夕方5時頃洋一さん宅へ行きその年の6月に生まれた当歳を選別致しておりました。

午後5時56分下から突き上げられたと思った次の瞬間、直人君と私は池の中でした。激しい揺れでなかなか脱出できず水中で死ぬってこういう事なんだなと思いました。必死の思いでなんとか脱出することが出来ました。直人君も自力で脱出したようですが、洋一さんの姿が見えない、あたりは暗くなってきました。なんと灯油タンクの下敷きになっていました。幸いタンクは空でしたので大事に至りませんでした。3人で大揺れの中、自宅の表へ出ました。近所の方々が多勢出てきてあちこちから悲鳴が聞こえます。家屋が次々と倒壊していきます。羽黒の山くずれ道路はほとんど寸断されたようです。

近くにいた人が倒壊家屋にじいさん、ばあさんがいるはずだと叫んでいました。7~8人で救助に向かいました。とにかく激しいゆれでした。行ってみるとじいさん、ばあさんが飯台の下にいとみんなで入り、木材を持ち上げばあさんを助けた、なんと無傷のようでした。

二人共びしょ濡れなのでとにかく寒いなのって直人君に自宅まで行って着替えようと提案しましたが道路が崩れ落ちどこからも行けない状況でした。近くの家を訪ねました中年の婦人がいられて家の中はメチャクチャでした。池に落ち濡れたのでご主人の洋服を貸して下さいと頼みましたら、私のならあると言われるのです。サイズ的にはいらないだろうと思いながらもとにかく寒くガタガタ震えている状況でしたので、女性物の下着なら伸びるからなんとかなるだろうと思いきやまさかそのまま家に帰る訳にも行かないだろうなどと訳のわからない会話をしたように記憶しております。後で聞いたのですがそのお婆さんは独身だとのことでした。

消防署が近くにあったのでひょっとしたら着替えがあるかもしれないと思い飛び込みました。署員は2人いられました。事情を話し、非番の方の制服(オレンジ色)に着替えさせてもらいました。そしたらなんと署員が言われるには私達は倒壊家屋の人命救助に向かうのであなた達2人は住民を山古志中学校に避難させて欲しい旨の命令が出ました。直人君が隊長、私が副隊長でした。老人、子供を体育館に、避難地グラウンドに十数人はいたでしょうか。寒さをしのぐ為たき火の材料を探しましたが適当な物は見あたりませんでした。しばらくすると直人君が立派な板をかかえてきました。朝5時までその火は絶えることはありませんでした。夜に火を発見したヘリコプターが物資を投下して